



## 📖 逃げる二月

1月もあっという間に終わり2月となりました。『逃げる二月、去る三月』とよく言いますが、本当にそのとおりだと、毎年実感しています。みなさんも、“すぐできるから後でやろう”と置いていたら、“締め切りが過ぎていた”ということはありませんか？私は時々ありとても焦ります…(^\_^;)>

特に“この本、後で読もう”と置いて失敗することが多いです。“今できることから、ためないで片付ける！”ということをや心がけて、この2月、3月をともに過ごしていきましょう。

## 📖 毎年恒例！本屋大賞ノミネート作品決定

今年もまたこの季節がやってきました。ノミネートされた10作品が2月1日に発表されました。大賞の発表は4月10日です。どの作品が選ばれるか楽しみです。また、予想してみるのもいいですね。図書館ではノミネートされた作品を取りそろえて、皆さんの来館をお待ちしています。

以下、ノミネートされた10作品です。

- ①『黄色い家』川上未映子 中央公論新社
- ②『君が手にするはずだった黄金について』小川哲 新潮社
- ③『水車小屋のネネ』津村記久子 毎日新聞出版
- ④『スピノザの診察室』夏川草介 水鈴社
- ⑤『存在のすべてを』塩田武士 朝日新聞出版
- ⑥『成瀬は天下を取りにいく』宮島未奈 新潮社
- ⑦『放課後ミステリクラブ 1 金魚の泳ぐプール事件』知念実希人 ライツ社
- ⑧『星を編む』凧良ゆう 講談社
- ⑨『リカバリ・カバヒコ』青山美智子 光文社
- ⑩『レーエンデ国物語』多崎礼 講談社

津村記久子さんや多崎礼さん以外“常連さん”という気もしますが、裏を返せば、“どれを読んでも間違いなく面白い”ということだと思います。ちなみに私は、⑩の『レーエンデ国物語』から読み始めています。一緒に予想し合いましょー!!!

### 来月1日…卒業する3年生のみなさんへ

3年生のみなさんにとってこれが最後の「図書館だより」です。そこで、次のステージへ進むみなさんへ「無礼語辞典」関根健一著（大修館書店）という本をオススメします。“丁寧に言ったつもりが、じつは失礼なことばだった”という私の反省も踏まえてのオススメです。日本語を使いこなして素敵な社会人になってくださいね。